

施策番号	16
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	3	産業・雇用
主要施策名	16	雇用対策
5年後のまちの姿	○進学でまちを離れた若者を中心とした幅広い人が、安定した収入ややりがいが見られる職場を見つけることができるまちになっています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市民の生活の安定のため就業機会の拡大と企業誘致等を通じた雇用の促進を図ります。 市民等は、市内企業の業務内容を理解し、その魅力に気付くとともに、市内の就業機運を醸成します。また、企業側では積極的な情報発信やインターンシップの受入れに努めます。	
実現に向けた取組	①地域雇用・域内還流の促進 ②人材の育成・確保	
施策担当課・係	商工観光課 商工振興係	
施策関係課・係		

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	220				
事務事業数	1				
うち、事務事業評価対象	1				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
就業者のうち市内で就業している市民（15歳から64歳）の割合	%	61.4	65.7					64.9
事業者が行う人材育成のための支援の利用数〔年間〕	件	3	19					5
雇用促進施策による市内企業就職者数〔年間〕	人	0	6					2

成果指標による現状分析	<p>感染症対策を講じ企業見学バスツアーを実施することができた。参加者が高校2年生だったため、年度内に就職という成果には結びつかなかったが、今後追跡調査を行う。</p> <p>中小企業等支援事業のメニューの1つに「育てる支援」として、資格を取得するための研修費用等を支援しており、企業等による利用件数は目標を超えている。コロナ禍によって経営方針や事業内容を変えた事業者も多く、需要が高まっていると考えられる。</p> <p>同じく「はたらく支援」として市外から市内へ転入し就職した方への支援を行っており、6人が活用した。総合政策課の移住定住促進事業と連携し、継続していきたい。</p>
-------------	--

3 施策の進捗状況

達成度	○概ね順調
評価の理由	企業見学バスツアー2回目は、企業にとって参加しにくい時期に計画したため開催に至らなかった。企業からの意見を踏まえ、令和5年度は夏季にバスツアー、秋季にオンライン方式の企業説明会を実施する。

4 取組の状況と今後の方向性

① 地域雇用・域内還流の促進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の雇用の安定に向けて、ハローワークや商工業関係者、その他関係機関等と連携した求人・求職情報の収集や提供、相談事業や就業支援を継続して実施します。 ・雇用促進奨励金制度等の活用や市内企業との連携により地域内での雇用の拡大を促進しながら、企業説明会や市内企業見学ツアー、インターンシップ等による市内企業とUJIターナーを含む求職者をつなげる取組の拡充を図ります。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田広域圏でのインターンシップ事業について、市内での受入企業の申込数を増やすため、継続した情報発信を行った。 ・市内企業を対象とした見学ツアーを令和4年度は8月に1回開催した。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップに関する企業向けの情報発信の継続。 ・新卒予定者の参加動向及び企業の要望から、適切な時期に企業説明会や見学会を開催できるよう調整する。

② 人材の育成・確保

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・各種教育機関や市内企業等と連携してキャリア教育を強化することで、早期からのキャリア形成に向けた学習意識の醸成や市内企業の魅力のPRを図ります。 ・ハローワークと連携した職業訓練の実施や地域若者サポートステーションとの連携を通じた就業に必要なスキルの習得を支援するとともに、妊娠・出産等で離職した女性や定年退職した方等の再雇用の促進に向けての取組や市内企業等への働きかけの強化を図ります。 ・市内事業者が経営発展のために参加、又は実施する研修等への支援を継続していきます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報交換を継続。 ・雇用調査（1回）を実施し、市内企業の雇用状況を確認した。 ・雇用促進協議会で、小中学校のキャリア教育に関する取組を委員向けに周知。合わせて「中条高校」の地域産業コース新設に伴うデュアルシステム（企業での長期実習）について、中条高校が過去のインターンシップ等の実績を踏まえて受入企業を募集した。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・雇用と人材の確保は当面の課題であることから、市内企業と学生等との有用なマッチングの機会を創出できるよう開催方法等を検討する。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
施策方針に関する説明	<p>UJIターナーを含め今後も市内の雇用の確保を図っていく必要がある。一方で企業は少子高齢化等の現状から人材確保が課題となっている。オンライン方式で遠隔地からも気軽に参加できる企業説明会を開催するなど、更に企業と就職希望者とのマッチングを図る機会を充実させていく。</p> <p>また、インターンシップやキャリア教育を通じた就労支援に関しては、市内の教育機関とも連携しながら進めていく。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4		R5		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
340110	労働費関連事業	220	220	1,872	1,872	△	②	商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	340110		担当課	商工観光課		担当係	商工振興係		担当者	
事務事業名	労働費関連事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	34	雇用対策	予算科目	款	05	労働費
主要施策	16	雇用対策		中	01	地域雇用・域内還流の促進		項目	01	労働諸費
				小	10	労働費関連事業		目	01	労働諸費
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け			任意			関連例規			関連計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市内事業者の雇用安定化のため、求職者確保を推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 企業見学バスツアー 新潟職業能力開発短期大学校産業教育振興協議会負担金
実施方法	市が直接実施＋委託＋補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	220	1,872				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	0	0				
一般財源	220	1,872	0	0	0	
人件費（千円）	146	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	78	0	0	0	0	
※事業費(任用) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	366	1,872	0	0	0	
財源「その他」内訳						
事業費の主な支出内容	印刷 85千円、インターンシップ委託料 61千円、手数料 37千円、消耗品費 25千円、通信運搬費 13千円					
単位コスト	算出方法	<ul style="list-style-type: none"> 企業見学バスツアー 総事業費÷参加者＝参加者1人当たりの経費 				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		81千円				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	企業見学ツアー開催数	企業見学ツアー開催数	企業見学ツアー開催数		
	目標	2回	2回	2回		
	実績	1回				
成果指標	名称	企業見学ツアー参加者数	企業見学ツアー参加者数	企業見学ツアー参加者数		
	目標	30人	30人	30人		
	実績	23人				
	目標比	77%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない バスツアー1回目 8月1日・2日 参加者23人 2回目 3月中の2日間を予定したが実施に至らず				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 長らく新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止していたが、参加者に検査キットを配布し、企業にも対策していただきながら、通常通り実施できた。 2回目は3月に開催予定であったが、受入先の企業から開催時期を理由に断られ、実施できなかった。令和5年度は企業の意見をもとに10月中にオンライン方式の企業説明会を開催予定。

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	行政からの一方的な呼びかけではなく、企業が行政に求める支援を行う、または企業と合同でイベントを開催するなど協働が有効であれば対応していく。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響及び経済社会全体の変化により、求人と求職のバランスが変わっている。職種によって求人倍率や人材不足の度合いに格差があり、マッチングが難しい。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
<ul style="list-style-type: none"> 主なターゲットとなる学生への周知方法について、学校側の意見を踏まえて継続した検討が必要。 企業見学バスツアーの他にも、企業の意向を踏まえ、オンライン方式での企業説明会を開催するなど有用な手段を検討していく。 					

9 二次評価委員会所見

事業周知やイベント開催等について、「にいがた鮭プロジェクト」との連携を検討すること。（R,R5）
--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
	削減	⑧	⑥	⑦
	縮小	⑨	⑦	⑧
	維持	⑩	⑧	⑨
	拡大	⑪	⑨	⑩
コスト投入の方向性				